

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年3月28日

【会社名】 アース製薬株式会社

【英訳名】 Earth Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO(兼)グループ各社取締役会長 川端 克宜

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田司町二丁目12番地1

【電話番号】 東京03(5207)7451(代表)

【事務連絡者氏名】 上席執行役員 グループ経営統括本部本部長 三塚 剛

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田司町二丁目12番地1

【電話番号】 東京03(5207)7458(直通)

【事務連絡者氏名】 グループ経営統括本部 経営管理部 課長 山本 壮平

【届出の対象とした募集有価証券の種類】 株式

【届出の対象とした募集金額】 その他の者に対する割当 224,128,000円

【安定操作に関する事項】 該当事項はありません。

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
アース製薬株式会社 名古屋支店
(名古屋市中区丸の内三丁目14番32号)
アース製薬株式会社 大阪支店
(大阪市中央区大手通三丁目1番2号)
アース製薬株式会社 坂越工場
(兵庫県赤穂市坂越3218番地12)

1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

当社は、第98期事業年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)の有価証券報告書及び臨時報告書を関東財務局長に2022年3月28日付で提出いたしました。これに伴い、2022年3月25日付で提出した有価証券届出書の記載内容(添付書類を含む)について、当該有価証券報告書及び臨時報告書を参照書類に追加し、参照書類の補完情報を訂正するため、また、添付書類の一部を差し替え及び削除するため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第三部 参照情報

第1 参照書類

第2 参照書類の補完情報

(添付資料の差替え)

新たな事業年度にかかる有価証券報告書を提出したことに伴い、2022年3月25日に提出した有価証券届出書に添付しておりました「事業内容の概要及び主要な経営指標等の推移」を差し替えます。

(添付書類の削除)

2021年12月期(2021年1月1日から2021年12月31日まで)の連結業績の概要

自己株券買付状況報告書(報告期間：自 2021年11月1日 至 2021年11月30日)

自己株券買付状況報告書(報告期間：自 2021年12月1日 至 2021年12月31日)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は下線で示しております。

第三部 【参照情報】

(訂正前)

第1 【参照書類】

会社の概況及び事業の概況等金融商品取引法第5条第1項第2号に掲げる事項については、以下に掲げる書類を参照すること。

1 【有価証券報告書及びその添付書類】

第97期事業年度(自2020年1月1日 至2020年12月31日) 2021年3月30日関東財務局長に提出

2 【四半期報告書又は半期報告書】

第98期第1四半期事業年度(自2021年1月1日 至2021年3月31日) 2021年5月14日関東財務局長に提出

第98期第2四半期事業年度(自2021年4月1日 至2021年6月30日) 2021年8月10日関東財務局長に提出

第98期第3四半期事業年度(自2021年7月1日 至2021年9月30日) 2021年11月11日関東財務局長に提出

3 【臨時報告書】

1の有価証券報告書提出後、本有価証券届出書の提出日(2022年3月25日)までに提出した臨時報告書は以下のとおり。

金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づく臨時報告書を2021年3月30日に関東財務局長に提出

第2 【参照書類の補完情報】

参照書類としての有価証券報告書及び四半期報告書(以下「有価証券報告書等」といいます。)に記載された「事業等のリスク」について、当該有価証券報告書等の提出日以後、本有価証券届出書の提出日(2022年3月25日)までの間において生じた変更内容を以下のとおり一括して記載しており、変更箇所については 〆で示しております。

(1) 業績の季節性

(中略)

(2) M&A等の実施による影響

(中略)

(3) 原材料の代替性

(中略)

(4) 原材料価格の変動

当社グループは、複数の国・地域から原材料を購入しております。気候変動、為替変動、国際的な需要拡大等による需給動向の変化、また地政学的リスクなどに伴い、原材料の購入価格が高騰した場合、業績に影響を及ぼす可能性があります。特に、当社グループが取り扱う製品の原材料は石油化学製品の占める比率が高く、原油価格の動向には注視が必要です。

このようなリスクを認識した上で、当社グループでは処方の変更、複数社購買、グローバル調達などによる継続的なコストダウンに取り組むなど、リスク回避に努めています。

(5) 削除

(5) 海外展開におけるリスク

(中略)

(6) 事業に関する法的規制

(中略)

(7) 自然災害・感染症による影響

(中略)

また、当該有価証券報告書等に記載されている将来に関する事項は、本有価証券届出書提出日(2022年3月25日)現在においても、その判断に変更はなく、新たに記載する将来に関する事項もありません。

(訂正後)

第1 【参照書類】

会社の概況及び事業の概況等金融商品取引法第5条第1項第2号に掲げる事項については、以下に掲げる書類を参照すること。

1 【有価証券報告書及びその添付書類】

第98期事業年度(自2021年1月1日 至2021年12月31日) 2022年3月28日関東財務局長に提出

2 【四半期報告書又は半期報告書】

該当事項はありません。

3 【臨時報告書】

1の有価証券報告書提出後、本有価証券届出書の訂正届出書提出日(2022年3月28日)までに提出した臨時報告書は以下のとおり。

金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づく臨時報告書を2022年3月28日に関東財務局長に提出

第2 【参照書類の補完情報】

参照書類としての有価証券報告書に記載された「事業等のリスク」について、当該有価証券報告書にて記載内容を変更しており、当該有価証券報告書の提出日以後、本有価証券届出書の訂正届出書提出日(2022年3月28日)までの間において生じた変更その他の事由はありません。

また、当該有価証券報告書に記載されている将来に関する事項は、本有価証券届出書の訂正届出書の提出日(2022年3月28日)現在においてもその判断に変更はなく、新たに記載する将来に関する事項もありません。